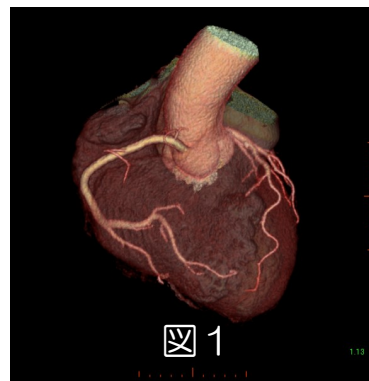


64列マルチスライスCTのご紹介 放射線科長 西田暁史

2009年12月五島中央病院に最新型の64列CT装置（GE社製 LightSpeed VCT VI-SION）が導入されました。短時間で広範囲かつ精密な画像を撮像することができるようになり、以前のCTではできなかったさまざまな検査ができるようになりました。その例をご紹介します。

○冠動脈CT

心臓を栄養する冠動脈を描出することができます（図1）。狭心症や心筋梗塞では冠動脈が狭小化したり、閉塞したりします。冠動脈CTはこれらの疾患の診断に有用で、また、冠動脈バイパス術後の検査としても有用です。



○脳動脈、頸動脈CT

脳動脈や頸動脈を立体的に描出することができます（図2）。脳動脈瘤や頸動脈狭窄症などの診断に有用です。

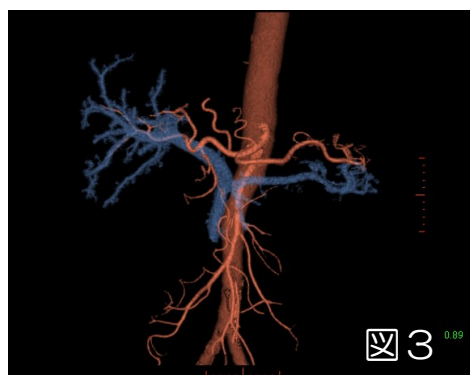


○骨CT

骨折を立体的に描出することによって、手術に有用な情報を得ることができます。

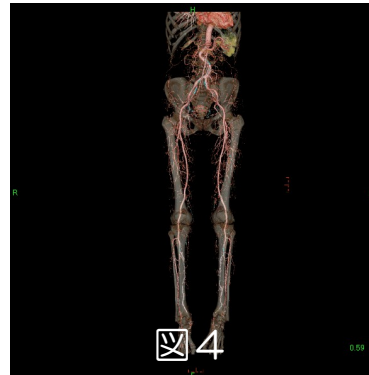
○腹部血管CT

大動脈、肝動脈、腎動脈などの腹部臓器の動脈を立体的に描出し（図3）、大動脈瘤や腎動脈狭窄症などを診断することができます。



○下肢動脈CT

下肢動脈を立体的に描出し（図4）、動脈の石灰化や狭窄を検出します。閉塞性動脈硬化症などの診断に有用です。



64列CTは開発されてすでに5年が経過しましたが、当院に導入されたCTは2009年に発売された最新型の64列CTです。従来の64列CTに比べてさまざまな改良点がありますが、特記すべきことはCT検査による被爆がおよそ50%低減されていることです。患者様には安心して検査を受けていただきたいと思います。

上記に紹介しました検査は64列CTではじめて可能になった検査です。今後はこれらの精密検査を五島で、今までの1/5の撮像時間と早く、しかも少ない被爆で受けていただくことができます。全身の様々な疾患の診断に威力を発揮し、皆様の健康に貢献できるものと確信しています。